

令和4年度 袋井特別支援学校磐田見付分校 第4回 学校運営協議会 議事録

1 日 時 令和5年2月20日(月) 午前10時から12時00分まで

2 場 所 静岡県立袋井特別支援学校磐田見付分校パソコン室

3 出席者

(1) 学校運営協議会委員

学校運営協議会委員A、学校運営協議会委員B、学校運営協議会委員C、
学校運営協議会委員D、学校運営協議会委員E

(2) 本校職員

校長、副校長、部主事、教務課長

4 開会のあいさつ(校長)

- ・新型コロナウイルス感染症が減少傾向だが、インフルエンザが増加している。マスクの使用について検討していく。
- ・今年度の反省を受けて、次年度の目標や新しい取り組みを考えていきたい。

5 協議事項

(1) 令和4年度学校評価(関係者評価)について

(副校長) 学校経営書に基づき、取り組み状況をスライドや写真など使って報告
[安心・安全]

学校運営協議会委員B

- ・暗黙のルールも理解できるようにしていく必要があるので、ルール(校則)には意味や理由があるという思考をもてるようにすることが望ましい。
- ・事故防止について、個々にタブレットを使って学習しているのが良い。自分の通学路・通学方法だけでなく、友達と共有することでバスや電車に乗るときなど社会生活に繋がる。

学校運営協議会委員C

- ・親子で危険個所を共有できるのはとてもよい。
- ・校則改革において、話し合いを通じて自分の意見が通ったという体験は大切です。

学校運営協議会委員D

- ・交通安全の基本は自分の身は自分で守る。4月からヘルメットの努力義務が始まるが、高齢者にはなかなか浸透しない。HPでどんなヘルメットがよいのか検索をしている。

学校としての取組はどうか。

⇒校長：学校はすぐに校則に入れることはない。当面は周知にとどまる。

学校運営協議会委員E

- ・校則改革について家でも話題になっている。しかし、靴下は何で白？紺？と質問をされても答えが分からない。理由がはっきり分かり、共有できるとよい。

学校運営協議会委員 A

- ・校則について見直しがされていることや居住地の地図が見える化されていて、分かりやすくとても良いですね。

[交流・業務]

学校運営協議会委員 C

- ・行事に加わるのは難しいと思う。しかし福祉委員会、ボランティア委員会などの日常関われる交流は理想的である。
- ・働き方改革は、早く帰るのがよいのか、充実した方がよいのかどちらを選択するかは難しい。抱え込まないことは大切なので、組織として対応したい。

[授業力の向上・豊かな人間性]

- ・なし

[地域]

見付の丘フェスタ

学校運営協議会委員 C

- ・ポスティングより、ポスターの方がよい。しかし、内容を詰め込みすぎで、文字が小さく近づかないと見えない。文字を大きくするなど改善が必要である。

学校運営協議会委員 A

- ・各ブースに大きな看板が欲しい。

地域販売会

(校長)

- ・地域販売会は、アピタ、中央図書館などで行い、充実感があつた。

(副校長)

- ・今後、ポスターの文字を大きくしたり、掲示時期をもう少し早くしたり改善していく。

[全体を通して]

学校運営協議会委員 B

- ・毎年、少しずつ生徒の実態に合わせた取組ができてきている。
- ・大きな出来事・行事は、負荷が大きい。小さな無理のない交流がよい。
- ・勤務時間について、帰る時間にフォーカスするのではなく、業務量・内容の精査を含めて改善していくのが望ましい。また、突発的な対応はあるものだとの認識で業務を組み立てることもひとつの考え。
- ・授業力は永遠のテーマ。我々が分かるように、分かりやすく説明してもらえると嬉しい。

学校運営協議会委員C

- ・子どもの実態と社会状況によって変わる。だんだん成長しているし、求め続けていかなければいけない。
- ・この3年間のコロナの状況をどうコロナ前に戻していくか。コロナ以前のことを知っている職員は少ない。工夫していく必要がある。
- ・消防服のリメイクは、活動状況をフィードバックする必要がある。

学校運営協議会委員D

- ・市長は「防災力と福祉が大切」と言っている。
- ・見付地域の福祉については、分校の生徒や先生が参加していただいているので、いろいろな視点で意見をもらえている。

学校運営協議会委員E

- ・地域の方と関わるが増えた。先日の図書館での販売会で、本を読みに来た子どもがたくさん話をしてくれたことを喜んでいた。
- ・現場実習の通勤練習の場面で、案外交通ルールや危険な場面を知らないことが分かった。

学校運営協議会委員A

- ・消防服のリメイク作業は他の学校では聞かない。磐田見付分校の伝統にしてほしい。
- ・地域販売会開催の情報を運営協議委員にも伝えてほしい。販売会の様子を見学したい。

(校長)

- ・教職員の異動がある中で、若手もベテランも磐田見付の三年間の授業計画が分かるように全体計画を作成した。
- ・コロナでできなかった行事がいくつかある。今後、計画していく中で見付の生徒にとってどうか目的をはっきりさせながら考えていく。

(2) 令和5年度 学校経営の方針について

(校長) 概要説明

(副校長)

- ・安全安心：てんかんの生徒がおり5分したら救急搬送という流れがあるが、管理職がいない場合、どう動くか確認していく。
- ・業務改善：組織として取り組む体制を作ることで、それぞれの専門性を生かし、一人で抱え込まないようにしていきたい。
- ・北高交流：連携を密にし、生徒も職員も交流できるようにする。
- ・授業：誰が来ても分かりやすく対応できるようにしていく

学校運営協議会委員B

- ・過去の学校経営を見続ける中で、今大切にされていることが、分かりやすくなっている。地域として何ができるか考えていく。

学校運営協議会委員C

- ・一番初めの「有事への対応」という言葉が重い。全て守りに入ったら活動しにくくなりそう。楽しさや夢を求めたらよいのでは。
- ⇒・管理職がいないとき、何か起こるかもしれない。マラソン大会の試走会に本校のAEDを持って行った。対応する意識を育てたい。
- ・本校では、アクションカードを使っている。校長～学年主任までそれぞれの対応の仕方を各教室に掲示している。地震、おう吐など様々なバージョンがある。

学校運営協議会委員E

- ・接客の仕事の中で半年に1回避難訓練がある。お客様を優先に避難させるように練習をしているが、実際に地震が起きてランプが揺れたとき、動揺して訓練通りにならなかった。訓練の継続は必要である。

学校運営協議会委員A

- ・目標具現化の三本柱（環境・生徒主体の授業・連携）が分かりやすくなっている。

7 情報交換

(1) 見付交流センターまつりについて

学校運営協議会委員D

- ・3月11日（土）今まで2日間だったが1日で開催する。
抽選会は水谷選手、伊藤選手のラケットや色紙をプレゼント。ハズレなし
- ・見付分校は13:15～ ハンドベル演奏。小学生の太鼓は北小体育館。
- ・バザーも行う。

(校長)

- ・分校の作業製品の展示だけでなく、本校の製品も置けないか？
- ・袋井特支へ磐田から187人の児童生徒が通っている。

学校運営協議会委員C

- ・敬老の日のハンドベル演奏は評判がよかった。今はまだ難しい。

(2) その他

学校運営協議会委員D

- ・来年度の自転車のマナーの日程はできている。

(部主事)

- ・磐田見付分校は北高とも、地域ともつながり、教育活動が上がりやすい。

(教務主任)

- ・見付の丘フェスタでは、地域の方に宣伝をしていただいたおかげで、たくさんの方の来場がありました。

学校運営協議会委員C

- ・卒業生が多いのはとても大切な要素。卒業生が参加し、楽しかった、懐かしかったなどの気持ちをどう生かしていくか。卒業生コーナーもあるといい。

⇒ (副校長)

- ・広さの問題がありますが、北高の協力を得て多くの方に来てもらえるようにしていきたい。

8 今後の予定

(副校長) 卒様式、入学式の日程について連絡。

9 閉会のあいさつ

(校長)

- ・温かい御意見ありがとうございます。
- ・令和9年度 豊田北部小学校跡地に特別支援学校ができる。また、今後ともよろしく申し上げます。